

b004003	〔吉田区〕瀬風呂(トンボレ)	概要 適用
 <p data-bbox="206 742 683 774">b004003001) 破沙岳山頂より平内海岸を望む</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="246 837 358 997">  <p data-bbox="246 997 470 1061">b004003002 牧場から望む破沙岳</p> </div> <div data-bbox="515 837 750 997">  <p data-bbox="515 997 739 1061">b004003003 温泉公園から破沙岳</p> </div> <div data-bbox="795 837 1030 997">  <p data-bbox="795 997 1030 1061">b004003004 出発前八幡神社参拝</p> </div> </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 海岸の岩を利用した瀬風呂(地元ではトンボレという。)が6箇所ある。 ・ 1～2名が入れる自然形の岩壺を利用して、石ころを焚き火で焼き、塩水と水を加えたものをその温熱で湯を沸かして岩風呂に入っていました。 ・ 素もぐり漁の後に体を温めたり、農閑期にはこの中に薬草等を入れて、疲労、切傷や吹出物等を治療したり、体を癒していました。 ・ 日常的に使うものではなく、医療の発達していない時代に湯治として使う事が主だった。 ・ 6カ所あるトンボレのうち、1つは自然にできていたもの。 ・ 車椅子に乗るぐらいの方が夏の間、毎日のように入り、歩けるようにまで回復した(日高キヨノリさん、2000年頃の話。) ・ 「トンボレ」という名前の由来はわからない。昔からそう呼んでいた。 <p data-bbox="1137 790 1467 821">2015年9月11日 近間十九二</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石で囲って作ったお風呂。 ・ 浜辺で石を焼き、熱くなった石を入れ、海水と川の水をあたたためる。 ・ 皮膚病などに効果があると言われる。 ・ NHKの「まんてん」の撮影時にも使われた。 ・ 現在はほとんど使う事はない。 <p data-bbox="1137 1125 1601 1157">b004003001.JPG 東シナ海をのぞむトンボレ。</p> <p data-bbox="1137 1173 1422 1204">b004003002.JPG 縦写真。</p> <p data-bbox="1137 1220 1668 1252">b004003003.JPG 近くで石を焼いて、それを入れる。</p> <p data-bbox="1137 1268 1579 1300">b004003004.JPG 主に湯治として使われた。</p>